

第1学年 算数科学習指導案

令和7年11月11日

第1学年特別支援学級 名

1 単元名 かたちづくり

2 単元について

これまで「いろいろなかたち」で、ものの形の観察、弁別、面の写し取りとその形を使った絵かき遊びを行ってきた。このような活動を通して、ものの形の特徴をとらえ、図形についての理解の基礎となる経験を積んできている。本単元では、色板並べ、棒並べ、点つなぎによって図形を構成する力と、操作によってできる図形の変化をとらえる力について、基礎的な経験を積むことをねらいとする。

本時は、図形領域における、数学的な見方・考え方を働かせる姿を大切にして学習を進める。児童は、かたちづくりなどの遊びを通して、図形への認識が深まる。特に、影絵をもとにしたかたちづくりでは、色板の枚数や並べ方が見えにくいので、図形の構成要素に着目する子供の姿がより見られると考えられる。本時の目標を達成するための具体的な支援については、方眼の1マスが色板2枚分であることを手がかりに並べるよう個別指導を行う。

3 単元の目標

- (1) 色板や棒などを使っていろいろな形が構成されていることを理解し、いろいろな形をつくることができる。
- (2) ずらす、回す、裏返すなどの具体的な操作を通して、形の特徴をとらえたり、構成について考えたりしている。
- (3) 色板や棒などを使って身の回りにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 色板や棒などを用いて、身の回りにある具体物の形を作ったり、作った形から逆に具体物を想像したりすることができる。	① ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴をとらえたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりしている。	① 身の回りにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
② 身の回りにあるものの形について、観察したり、構成したり、分解したりする活動を通して図形についての理解の基礎となる経験を豊かにしている。	② ずらす、回す、裏返すなどの具体的な操作を通して、形のもつ性質や特徴を生かした形の構成について考えている。	② 「さんかく」「しかく」などの形を身の回りから見つけようとしている。

5 単元計画(6時間)

時間	ねらい	評価規準(評価方法)		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	色板を使っていろいろな形をつくることに興味・関心を持ち、意欲的に図形を構成に取り組むことができる。	・知①(ワークシート)	・思①(行動観察・ワークシート)	・態①②(行動観察・ワークシート)
2 本時	色板の並べ方を工夫して、影絵の形を構成することができる。	・知②(ワークシート)		○態①②(行動観察・ワークシート)

3	棒の並べ方を工夫して、いろいろな形を構成することができる。	・知①(ワークシート)		・態①(行動観察・ワークシート)
4	点をつないでいろいろな形を構成することができる。		・思①(行動観察・ワークシート)	
5	図形の変化に着目して、色板や棒を動かすことができる。	・知②(ワークシート)	○思②(行動観察・ワークシート)	
6	学習内容の定着を確認する。(評価テスト)	○知①②(ペーパーテスト)	○思①(ペーパーテスト)	

※指導に生かす評価を行う代表的な機会については「・」を、その中で特に学級全員の児童の学習状況について、記録に残す評価を行う機会には「○」を付けている。

6 本時の学習(6時間)

- (1) 目 標 色板の並べ方を工夫して、影絵の形を構成することができる。
- (2) 展 開

学習活動	教師の支援	具体的評価規準 (評価方法)
1 いろいろな影絵を見る活動を通して学習のめあてをつかむ。	・いろいろな影絵を提示することにより、形をつくる意欲を高められるようにする。	
色板をならべて、㊦～㊧のかたちをつくろう。		
2 各自、影絵の形が何枚の色板でできているか考える。	・考えが停滞している児童に対しては、方眼の1マスにかく補助線を一緒に考えることにより、1マスが色板2枚分であることが理解できるようにする。	・知② 色板の並べ方を工夫して、影絵の形を構成することができたか。 (ワークシート)
3 形の作り方を発表する。	・全体での話し合いを通して、同じ形に見えても、枚数が異なる場合があることや、図形の仕組みやきまりに気付けるようにする。	
4 形の作り方や枚数をたしかめ、本時の振り返りをする。 ・再度形をつくり枚数を発表する。 ・本時の内容が理解できたかグットカードで振り返る。	・色板の並べ方を工夫すれば、いろいろな形ができることがわかったかを表すことができるカードを準備しておくことにより、子どもが自分の変容がわかるようにする。	・知② 色板の並べ方を工夫して、影絵の形を構成することができたか。 (態度、記述)

(3) 評価する状況と具体的な支援

「十分満足できる」と判断される状況	・色板の並べ方を様々に工夫して、手際よくいろいろな形をつくることのできている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な支援	・指導者が方眼の1マスに補助線をかき入れ、1マスが色板2枚分であることが理解できるようにする。